2023 年度 ＰＬ学園 中学校・高等学校 学校経営計画 および学校評価

１.めざす学校像

本校の教育理念
ＰＬ学園は、パーフェクト リバティー教団の教義に基づく教育を実践するために創設されました。
教義の根幹である「人生は芸術である」という真理は、各人が生まれながらに持つかけがえのない唯一無二の個性を、神に依りつつ、実人生の上に誠心誠意表現していくところに人間の真の喜びがある、というものです。したがって、ＰＬ学園で学ぶ一人一人に、この真理の妙味を会得せしめ、人間力の向上を期すものです。すなわち、自分をとりまく環境の中で、旺盛な自己表現の力を養いつつ、自他祝福の力をもつ「平和人」の養成を目指すものです。

２.中期的な目標

１.信仰心を持った人間の育成
（１）「信仰心」「祈り心」を育む
ア 日常生活の中に信仰を取り入れ、すべての行事・授業などに、始まりと終わりの遂断（祈り）を実践し祈りの習慣を身に付ける。
イ 一の日の式典の実施・参列
ウ 教職員の信仰心の向上を図る。校長面接や研修の実施
（２）「献身する心」の育成
ア 学校行事・教団行事の参加を通して、人のために役立つ献身する心を育てる。
イ 地域への奉仕活動

２.確かな学力の育成
（１）基礎学力の養成
ア 基礎学習が必要な生徒の学習指導・教育相談
イ 寮学習・自習室の活用で自学自習の習慣を身に付ける。
（２）受験に対応する学力の養成
ア 入試に向けての高度な内容の学習指導・進路指導の徹底
イ 英語教育の充実を図る
ウ 自学自習の徹底を図る
（３）教員研修を充実させ、次世代の新たな授業を検討する。

３.豊かな人間性と社会に役立つ人間力を持った品位ある人材の育成
ア 生徒を一人の人間として接し、人格を尊んだ指導を行う。
イ 学校と寮との情報交換を行い、学寮一体の指導を行う。
ウ 職員室に来やすい環境をつくり、教師－生徒間の距離を近くする。
エ いじめ・暴力のない学校作りを推進する
オ 総合学習・生徒会活動・寮活動・クラブ活動などで良好な人間関係を形成する環境を作る。

【自己評価アンケート結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校関係者評価委員会からの意見
１.信仰心を持った人間の育成 〇結果 〔生徒〕 【３】あなたは、日常生活の中で信仰的に生活していますか。 肯定 83% 【４】あなたは、積極的に献身に取り組んでいる。 肯定 87% 【５】あなたは、「感謝の日の式典」などに参列している。 肯定 88% 〔保護者〕 【１】学校は社会に貢献できる人材育成に努めている。 肯定 100% 【２】学校は教育目標や、教育方針を保護者に伝えている。 肯定 90% 【５】教職員は生徒一人一人に対して丁寧に対応している。 肯定 95% 【６】本校の教育活動を通して、ご子弟は全体的に成長した。 肯定 100% 〔教職員〕 【２】生徒は、本校の創立の精神と教育理念・目標を理解している。 肯定 91% 【３】学校・寮では適切な信仰指導が行われている。 肯定 100% 【４】学校・寮では、校内美化・寮清掃などに取り組み、 献身精神の育成に取り組んでいる 肯定 100% 【５】教員・生徒は自身の信仰心の向上に取り組んでいる。 肯定 82% 【６】教員・生徒は、式典への参列や教会への参拝を行っている。 肯定 82% 【７】教団行事には学園の教員・生徒全員で協力・献身している 肯定 100% 【18】担任は個人面談を学期に１回は行っている 肯定 100%	学校関係者評価委員会 教団代表者・保護者代表者・教会関係者・寮関係者 ＜信仰心＞ ＰＬ学園の母体となるパーフェクト リバティー教団の中で、最も重要な祭典が毎月 21 日の感謝の日の式典である。この式典に 88%の生徒が参列していることは、信仰心を持って暮らすことの第一歩として素晴らしいことである。 生徒【3】では、神に祈りつつ日常生活の中で「言う」「する」「聞く」「見る」「思う」の表現の基本を中心とした信仰生活を送ることが大事であり、強制ではなくそれぞれが自発的に神に祈ることなどを見届けていく必要があると認識できた。 これについては、全体の 65%が寮生活を送っていることがプラスに働いている。100%になることを目標に取り組んでいきたい。

○分析と今後
　一の日詣の式典（毎月１日平和の日、11 日先祖の日、21 日感謝の日）の参列によって祈り心を育んでいると思われる。平和の日、先祖の日が登校日の場合、できるだけ本校で式典（英語の式典を含む）を挙行している。また、世の為、人の為にお役に立つ働きができるよう学校や寮を通して奉仕の心（献身精神）が積極的に身について来ていると思われる。
今後、日常生活の中で表現の基本を中心に信仰生活を送り信仰の体験ができるように更に工夫を凝らして信仰心の向上に努めていきたい。

２.確かな学力の育成
○結果
〔生徒〕
【１】あなたは、目標を持って学校生活を送っている。　肯定 84%
【10】あなたは、家や寮で勉強している。　肯定 83%
【11】あなたは、授業中はしっかり話を聞き、考えようとしている。　肯定 93%
【12】あなたは、授業内容を理解できている。　肯定 72%
【14】先生は、授業で生徒が理解しているかどうか気を配っている。　肯定 86%
【15】先生は、授業中の生徒の態度について指導が出来ている。　肯定 85%
【16】先生は、生徒が意欲をもって授業に参加できるよう工夫している。　肯定 77%
【17】先生は、生徒を公平に評価している。　肯定 88%
【18】あなたは、語彙読解力検定・英語検定・漢字検定などの資格を取るために努力している。　肯定 70%
【19】あなたは、自分の将来の進路について考えている。　肯定 86%
【20】あなたは、自分の目標達成のための学習に努力している。　肯定 80%
【21】本校では、あなたの目標達成のための進路指導が適切に行われている。　肯定 76%
【22】本校では、あなたの目標達成のための学習指導が適切に行われている。　肯定 75%

〔保護者〕
【３】学校は保護者、生徒に対して適切に情報発信している。　肯定 75%
【５】教職員は生徒一人一人に対して丁寧に対応している。　肯定 95%
【８】進路に関する情報は保護者に適切に知らされている。　肯定 70%
【９】進路についてご子弟とよく話し合う。　肯定 95%
【10】ご子弟の進路希望を把握している。　肯定 95%

〔教職員〕
【８】生徒の進路希望や興味・関心に配慮した教育課程が編成されている。　肯定 82%
【９】授業は生徒の立場に立ったわかりやすい指導がなされている。　肯定 100%
【10】成績不振者への教育相談や学習指導など個に応じた指導がなされている。　肯定 100%
【11】教員は、生徒が興味を持ち学習意欲が向上するように心掛けている。　肯定 100%
【12】教員は、積極的に研修会に参加している。　肯定 36%
【13】教員は年間指導計画を立て、計画に基づいた指導を行っている　肯定 70%
【14】英語科において、単語テストの実施や英語検定の促進を行っている。　肯定 100%
【15】国語科において、漢字検定の受験の促進を行っている。　肯定 100%
【16】進路への興味・関心の醸成を目ざし、各学年に応じた進路総合学習を計画し実施している。　肯定　91%
【17】スタサポや基礎学力テストを実施し、基礎学力を分析し学習指導に活用している。　肯定　81%
【18】担任は、個人面談を学期に一回は行っている　肯定 100%
【19】大学進学希望者について、模擬試験の業者の分析アドバイス対策を講じている。　肯定　82%

○分析と今後
　授業の理解度は昨年に比べて上昇傾向にあるがさらなる改善が必要である。自宅、寮での自主学習の仕方を教え、自学自習の出来る生徒を育てる工夫をしながら、勉学意欲が向上するよう取り組みたい。教職員【9】の 100%に対して生徒【12】【14】は低い数字である。生徒の学習への意欲を促進するため教員側の生徒にあった努力が必要であり、もっと教員が参加しやすいオンラインの研修会などを探して授業力・指導力の向上に努め、参加しやすい環境作りが大切だと感じる。

＜学 力＞
今後の学力向上には家庭学習や自主学習が大切になってくるため、さらなる向上に努めたい。
生徒【11】は 93%と昨年以上に生徒が努力しようとしている姿が見受けられ、生徒【12】は 72%と昨年度よりは高くなっているが、まだまだ低いため、通常の授業をきちんと理解しているかの確認が必要だと感じる。
生徒【14】【15】【16】の満足度は昨年に比べると確実に向上しているのがわかる。より一層、力を入れるべき部分。この取り組みが結果的に【22】の満足度を上げることに繋がると思われる。
生徒【16】が２年連続向上しているのは、教員の工夫により授業の理解ができていると思われる。勉学に真剣に取り組む生徒が増えているが、そうなっていない生徒についてのアプローチが今後の課題。　教員側のより一層の工夫とスキルアップが望まれる。
生徒【17】は生徒と教員のコミュニケーションが取れ、信頼関係がしっかりあるように見受けられる。
生徒【21】【22】がまだ低い。生徒の努力に対応できるような工夫が、多少は見られた結果であるが、さらに向上を目指したい。

保護者の【５】【９】【10】が高いのは、教員の日々の努力に他ならない。このような取り組みを続けていくことで、人数は少ないながらも全体的な学力の向上が本人たちの希望する進路獲得につながり、望まれる学校像の実現としたいところ。

教職員【12】は費用も時間もなく積極的に参加できないのではないか。少しでも向上できるように学校としても対策し、情報を発信しつつ時間のあるときにオンライン研修会に参加してもらえるようにしていく必要がある。

教職員【14】の英単語テストや英語検定はかなり定着し、その効果も出てきている。

教職員【9】【10】【11】【14】【15】【18】で 100%に達している。教員の努力の賜物と思われる。

３.豊かな人間性と社会に役立つ人間力を持った品位ある人材の育成

Ａ、規範意識について〇結果

〔生徒〕

【６】あなたは、あいさつや服装などの基本的な生活習慣を身につけている。
肯定 97%

【８】あなたは、あなたは、学校の規則や社会のルールを守って生活している。
肯定 97%

【23】本校では、相談事や悩みやあなたの将来について、気軽に相談できる先生がいる。
肯定 65%

【24】本校では、担任や学年の先生と面談や相談をする機会が設けられている。
肯定 72%

【25】本校では、服装や礼儀などはよく指導されている。 肯定 85%

【26】本校では、生徒や先生のあいさつはよくできている。 肯定 98%

【27】本校では、明るい学級づくり、雰囲気づくりに努められている。 肯定 78%

【28】本校では、校内の清掃・環境美化などに積極的に取り組んでいる。 肯定 95%

【29】本校では、ホームルームなどで人権について考える機会がもうけられている。
肯定 90%

【35】学校生活であったことを家族に話し合いやメールなどで伝えている。肯定 78%

〔保護者〕

【４】学校は落ち着いた秩序ある中で生徒を指導している。 肯定 95%

【７】ご子弟の礼儀やマナー意識が高まっている。 肯定 95%

〔教職員〕

【29】本校では、服装容疑や挨拶の励行など基本的生活態度の指導が行き届いている。
肯定 100%

【30】本校では、学校の規則やルールを守る指導が行き届いている。 肯定 100%

【35】本校では、薬物の危険性の生徒向けの講習を実施している。 肯定 100%

〇分析と今後

本校生徒の礼儀・挨拶・服装・規則・モラルにおいての意識が高いことが分かる。教員の努力によるものであるが、現況に甘んじることなく「規範意識を育てる行き届いた指導」とは何かについて今後さらに探求し、指導の質を上げてゆく必要性を感じる。

＜豊かな人間性＞

学校に訪問してくる業者に対しても、しっかりと丁寧な挨拶ができている。業者からも「生徒側から先に挨拶をしてくる学校はあまりない。素晴らしい教育」とのお言葉をいただけた。引き続き、挨拶の大切さを伝え、自発的に挨拶ができるようにしていきたい。

生徒【23】は相変わらず低い数値。生徒個人の性格によるところが大きく、表面上だけでは抱えている内面的な問題の把握が不可能なので、より表現しやすい手段や方法の研究を含め、今の生徒の生活パターンに合ったあり方を追求する必要がある。重要であり早急に対応する必要がある。

生徒は規則を守りつつ、楽しい学園生活を送っているものと思われる。また、保護者も同様な認識を持っているものと思われる。

生徒は、清掃や環境美化に積極的に取り組んでいる。このことは、人間力の育成に直接つながっているものと思われる。

Ｂ、生徒会・部活・行事

〔生徒〕

【30】本校の学校行事に満足している 肯定 70%

【31】本校の委員会活動は充実している。 肯定 72%

【32】本校の部活動は充実している。 肯定 71%

【33】あなたは各種委員会活動に積極的に取り組んでいる。 肯定 80%

【34】あなたは部活動に積極的に取り組んでいる。 肯定 80%

〔保護者〕

【11】ご子弟は楽しく学校生活を送っている。 肯定 88%

〔教職員〕

【７】教団の大祭には、学園の教員・生徒全員で協力・献身している。 肯定 100%

【22】本校では、ホームページなどで学校情報の積極的な発信を行っている。
肯定 90%

【31】本校では、適切にクラブ活動が行われている。 肯定 91%

【32】寮やクラブ内で人間関係が適切に指導されている。 肯定 100%

【33】本校では、生徒会活動が充実し、活発に活動している。 肯定 91%

【34】本校では、生徒会役員がリーダーシップを発揮している。 肯定 91%

【35】本校では、委員会活動が活発に活動しその役割を果たしている。 肯定 100%

〇分析と今後

委員会活動は生徒会が中心となって委員長会議を開き、生徒の自主性を重んじて活発な活動を促しているが、なかなか積極的な取り組みにはつながっていない。新型コロナウィルスの影響により学校行事が満足にできていないため低い評価となっていることもあるが、生徒のしたいことができない（言えない）という部分もあるのではないかと感じている。お互いに工夫してさらに充実した活動を目指したい。

＜生徒会＞

生徒【30】は、これまで新型コロナウィルスの影響で学校行事がほとんど実施できていなかったが、５類に引き下がった結果行事もできるようになり、今後、改善されていく部分である。ただ感染予防は継続しなければならない。

生徒【33】【34】の活動については、学校側が積極的に協力するかたちにはなっていないのではないかと思われる。 今後、改善すべき点である。

全体的に評価は高くないが、昨年よりは向上しており、ひとつ一つの試みが生きているのを感じる。

生徒数の減少の影響もあり、思うような満足のいく活動ができていないものと思われるが、今できることを自主的・主体的に生徒に協力しながら活動に取り組むことが充実した活動に繋がると思われる。

C、愛校精神・充実感・やりがいについて〇結果

〔生徒〕

【１】あなたは、目標を持って学校生活を送っている。　肯定 84%
【２】あなたの学校生活は充実している。　肯定 75%
【７】あなたは、健康的で安全に学校生活を送っている。　肯定 95%
【９】あなたは、良き友人に恵まれている。　肯定 94%
【36】あなたは、ＰＬ学園生であることに誇りを持っている。　肯定 85%
【37】あなたは、ＰＬ学園に入学して良かったと思っている。　肯定 83%

〔寮生〕

【38】あなたは、寮の住環境や日課などに満足している。　肯定 78%
【39】寮係は寮生のお世話を十分にしてくれている。　肯定 89%

〔保護者〕

【４】学校は落ち着いた秩序のある中で生徒を指導している。　肯定 95%
【５】教職員は生徒一人一人に対して丁寧に対応している。　肯定 95%
【６】本校の教育活動を通して、ご子弟は全体的に成長した。　肯定 100%
【７】ご子弟の礼儀やマナー意識が高まっている。　肯定 95%

〔教職員〕

【１】私は、本校の創立の精神と教育理念・目標を理解している。　肯定 100%
【26】本校では、生徒が生徒と話しやすい雰囲気や環境を整えている。　肯定 100%

〇分析と今後

生徒は全体・学年別共に肯定的である。保護者も現在の学園の教育について概ね満足しているという結果である。これまで課題にしてきた寮の日課や学校生活においても少しずつであるが評価が高くなってきている。さらに評価が高まるように生徒に寄り添いながら努力をしていきたい。

４、まとめ

現在のＰＬ学園生は、学校生活において、やりがいや充実感を持ち、規範意識が高く、挨拶などもしっかりと行い、生き生きと過ごしており、本校の目指す「品位ある生徒の育成」に沿った学校教育が成されていると、概ね評価出来るのではないかと思われる。

自学自習の面で数値が低いのが気になるところであるが、自学自習の仕方など伝えられることは伝えて個人の取り組みに意欲をもって取り組んでほしい。教職員が面談などで家庭や寮のあり方を聞き、その対策を考える努力をして保護者と協力していく必要があると思われる。

今後も現在のＰＬ学園ならではの持ち味を生かし、さらにひとり一人に行き届いたＰＬの教義に基づく人間教育を目指すことが、将来社会において貢献できる人間力（自己表現の力・自他祝福の力・集団の規律秩序を正す力・結びを重んじる心）を育む学校として進歩発展できるものと思われる。

高い満足度があるからと安心するのではなく、常に保護者が何を求めているのかを理解し、必要な情報を発信していくことが大切であると感じている。

今後もＰＬの教えにある「表現の基本」を勉強し信仰を通した生徒指導を継続し、子供たちとともに保護者、教職員も成長する学園であること目指したい。

＜愛校心＞

比較的すべてにおいて高い満足度を得ているが、生徒【1】のあなたは目標を持って学校生活を送っている、が他と比べて満足度が低い評価となった。勉強意欲につながる大切な部分なので、今後の重要な課題である。面談などを通して目標を探していき、生徒が充実した学校生活を送れるよう、生徒会にも協力していきたい。

全体的には、昨年よりも高い満足度となっている。

生徒【37】の本校に入学して良かった、生徒【36】のＰＬ学園生であることに誇りをもっている生徒が多いことは有難いことである。

生徒【38】【39】は寮生から高い満足度を得られている。これは日ごろお世話している寮関係者のお陰である。

保護者からもＰＬ学園の教育について、ご理解をいただけているのがわかる。

本年度の取り組み内容及び自己評価

中間的目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
信仰心を持った人間の育成	・授業や清掃、部活等の開始と終了の遂断（祈り）を行う。 ・平和の日や先祖の日の式典後に、教えの話を聞く。	達成度 80%以上年 10 回以上の実施	活動の前後での開始の遂断（祈り）終了の遂断（祈り）が、すべての授業・行事で行われている。
	・平和・先祖の日の式典を実施する。	年実施回数 10 回以上	式典後はすべてで教話をいただいた。式典参列の態度が落ち着いた静粛なものとなっている。また、教話を聞く姿勢も良好である。 日本語と英語の式典が交互に行われている。
	・職員の校長面談を実施	年 1 回の校長面談を実施	年 2 回の校長と教頭の職員面談を実施した。
	・週に一度清掃デーを設け、清掃への取り組みを行う。 ・週 1 回地域の清掃などに取り組む（アドプトロード）	週 1 回の実施　年 20 回以上の実施	清掃デーを毎週水曜日と決めて実施した。アドプトロード（道路清掃）年 29 回実施した。
確かな学力の育成	・寮学習・放課後時間の指導	各寮にて勉学指導、自習室を使っての指導	教員が寮に出向いて学習指導を行っている。 テスト週間は複数人教えて行っている。
	英単語テストの実施　英語検定の実施	英単語テストの実施英語検定の受験者年間延 10 名以上	授業において英単語テストを実施した。 英語検定の受験者約 30 名の実績
	充実したキャリア教育の実施	生徒アンケート【19】は 86%【21】は 76%となっている。	今の時代にあった教育法を考え、教員とともに努力をしていかなければならない。
	到達度テスト・スタディサプリイングリッシュの利用	スタディサプリの利用 宿題配信	講習会等でスタディサプリの使い方を学び、宿題の配信等の利用が増えてきている。より有効に活用したい。
豊かな人間性と社会に役立つ人間力を持った品位ある人材の育成	落ち着いた学校生活の整備	生徒アンケート【1】は 84%【2】は 75%となっている。	将来の目標を持ち、その実現を目指し意欲を持って勉学に取り組めるよう指導していきたい。
	学寮懇談会での情報交換会	中学が毎週、高校は不定期で実施。	高校も必要に応じ頻繁に実施できる体制を整えたい。
	学校行事・学園祭・球技大会への取り組み 生徒会活動　クラブ活動の充実	生徒アンケート【30】は 70%【33】は 80%【31】は 72%となっている。	生徒会が中心となる学園祭や体育祭は人数が少ないこともあり、ひとり一人がしっかり役割を持ち充実している。
	人権教育	生徒アンケート【29】肯定度 90%の人権教育	1 学期は処世訓の教話、２、３学期は人権教育の動画を見た後、クラスで振り返りをしているが、アンケートの内容は充実している。
	学校のルールの順守、服装容儀・挨拶などの礼儀指導	生徒アンケート【8】は 97%【25】は 85%となっている。	規範を順守する意識の高さがみられた。
	国際理解を深める	国際理解ＬＨＲの年１回の実施	国際理解ＬＨＲ年間１回実施した。NGO 法人より講師を招いて講演をおこなった。海外のことを知る学習として行っていきたい。
	寮生活について	生徒アンケート【38】は 78%【39】は 89%となっている。	寮については満足している結果であったが、より充実したものとなるように、生徒を主体とした自主的な活動を展開していきたい。